

平成 15 年度実践事例

焼き物の伝統工芸と未来技術

【授業情報提供者】

大有田焼振興共同組合

【主な授業実践者】

有限会社しん窯
株式会社田島商店
佐賀県窯業技術センター
岸岳窯三婦庵

【実施教育機関】

佐賀県西松浦郡有田町立有田中部小学校
佐賀県東松浦郡北波多村立北波多小学校

【対象学年】

小学 4 年

【実施した教科・単元】

小学 4 年 総合的な学習時間 「郷土の伝統産業」

【学習時間】

10 時限

【授業概要】

歴史ある「焼き物（有田焼・唐津焼）」をさらに発展させたセラミックス技術を学ぶことで焼き物の奥深さを知る。先人の築いた、陶磁器製造の技術がさらに極められ、セラミックスの技術として新たな、そして様々な分野へと発展していることを知り、焼き物や、それを育んだ郷土を再認識する。

ファインセラミックスやスペースシャトルにまで焼き物が実用され、社会生活での環境問題に対応した商品を見たり、焼き物の未来を知ることで、その考え方や過去の努力に興味を持ち、さらに調べていこうとする関心を持つ。最後に、磁器発祥の地「有田」と唐津焼発祥の地「北波多村」の小学校が、お互いの疑問点について交流できる場としてインターネットを利用した合同発表会を行う。

【期待される効果】

地域の歴史と文化に触れ、自分達の住む地域を再発見することでふるさとに誇りと愛着を感じる。

焼き物にたずさわる人々に接し、もの作りの楽しさがわかり、興味関心をもつ。

【授業の流れ】

有田焼き

1 回目 窯元見学「有田焼のできるまで」 3 時限

有田焼のできるまでの工程を見学し、分業化された有田焼の製造工程を学ぶ。

2 回目 有田焼の用と美 2 時限

窯元から見た「有田焼の用と美」、焼き物づくりと生活文化の密接なかかわりについて理解する。

3 回目 陶土工場見学&やきものの未来技術 3 時間

陶土工場と、窯業技術センターでは研究施設へグループに別れて見学。

唐津焼き

1 回目 唐津焼のできるまで 2 時限

唐津焼のできるまでをサンプルを見ながら学ぶ。

2 回目 窯元見学「唐津焼のできるまで」 2 時限

唐津焼窯元を訪ね、窯場の作業風景、窯道具などを見学し、伝統工芸の作業の楽しさ、難しさなど体感する。

3 回目 有田焼窯元&やきものの未来技術 4 時限

有田焼の窯元と窯業技術センターの見学。

4 回目 調べた内容の交流発表会 2 時限

両校をインターネット回線によるテレビ会議システムを利用して発表会を行う。「有田焼」と「唐津焼」について交互に発表し合い、質疑応答を行い、お互いの発表内容について比較した。



有田焼の工場見学（有田中部小）



唐津焼の工場見学（北波多小）



交流によるテレビ会議授業